

看護の統合実習

【実習目的】

看護チームの一員の体験、夜間実習、複数患者の受持ちを通して知識・技術・態度を統合し看護実践力を身につける。

【実習目標】

- 1 看護管理の実際を知ることにより保健医療福祉チームにおける看護の役割と機能の理解を深める。
- 2 夜間の安全対策と、少人数での連絡調整方法及び援助の実際が理解できる。
- 3 複数患者の看護を、優先順位と時間管理を考慮して実践できる。
- 4 既習の知識、技術、態度を統合し、看護実践力を高めることができる。
- 5 これまでの学習を振り返り、将来の看護師としての自己の課題を明確にできる。

【構成および計画】

授業科目	実習内容	時間	単位（合計時間）
看護の統合実習	既習の知識・技術・態度を統合した実習	80	2 (90)
	実践活動外学習	10	

<実践活動外学習の内訳>

項目	目的	内容	時間
全体オリエンテーション	実習を円滑に行うために、実習の概要を理解し、実習施設や患者情報を得る。	実習の目的・目標・時間数、評価等	2
フロアーオリエンテーション		病棟の概要、特徴、物品配置、記録・報告、受持ち患者の紹介等	1
カンファレンスと技術練習	夜間実習の学びを共有し、理解を深める。 複数患者の受持ちに向けて技術力の向上を図る。	夜間の患者の状況、夜間の看護のための情報収集、安全対策等。 複数患者を想定した事例を用いた計画の作成、対象への援助等	4
実習のまとめ	実習を振り返り、保健医療福祉チームの連携の在り方について考え、自己の課題を明らかにする。	保健医療福祉チームにおける看護の役割についてディスカッション、自己の課題レポート等	3